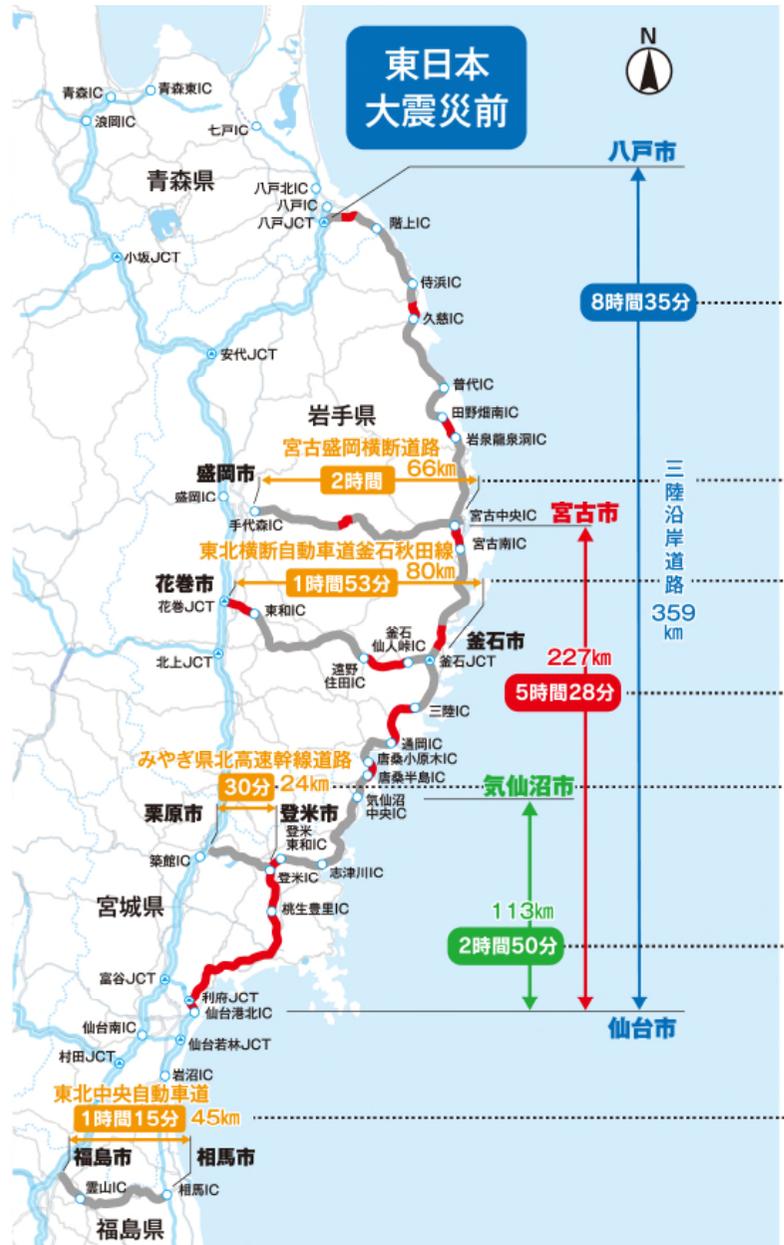


三陸沿岸道路の整備効果について

三陸沿岸道路の時間短縮効果

▼東日本大震災前



▼全線開通後



三陸沿岸道路全線開通により
仙台-八戸間の所要時間が
3時間22分短縮

三陸沿岸道路全線開通により
仙台-気仙沼間の所要時間が
51分短縮

- 約3時間20分 短縮
- 約35分 短縮
- 約30分 短縮
- 約2時間 短縮
- 約5分 短縮
- 約1時間 短縮
- 約25分 短縮

復興道路・復興支援道路

- 開通区間
- 未開通区間
- その他の高速道路

出典：都市間所要時間は各市役所間で算出
 ・既供用区間の速度は、
 H27全国道路・街路交通情勢調査（非混雑時、上下平均）を採用
 ・未供用区間は、道路構造に応じた速度を適用

三陸沿岸道路の交通量推移(震災前～全線開通後)

▼三陸沿岸道路の区間別全車種交通量 (10月平日平均)

(台/日)

区間 (IC名)	東松島市	石巻市		登米市	南三陸町	気仙沼市		
	鳴瀬奥松島 ～ 矢本	石巻河南 ～ 石巻女川	河北 ～ 桃生豊里	登米 ～ 登米東和	志津川 ～ 南三陸海岸	岩井崎 ～ 気仙沼中央	気仙沼港 ～ 浦島大島	唐桑半島 ～ 唐桑小原木
H22 ^{※1}	28,100	16,300	16,200	3,500	-	-	-	-
H24	33,700	19,700	19,200	5,500	-	-	-	7,000
H27 ^{※1}	36,300	25,100	21,000	6,600	-	-	-	7,700
H29	38,400	29,500	22,900	10,800	6,500	-	-	7,700
R1	34,400	31,100	25,000	12,800	9,200	11,200	-	8,900
R3	38,100	31,100	23,400	13,300	11,000	14,100	8,800	8,400
R4 ^{※2}	37,400	30,600	24,000	13,200	11,400	13,800	8,700	8,200



H22：震災前（登米東和ICまで開通）
 H24：震災後
 H27：石巻女川ICまで4車線化（石巻女川IC H27.10.4新設）
 H29：南三陸海岸ICまでH29.3開通
 R1：気仙沼中央ICまでH31.2開通（小泉海岸IC～本吉津谷IC間除く）
 R3：宮城県復興道路R3.3全線開通
 R4：三陸沿岸道路（仙台～八戸）R3.12全線開通

震災前に比べて、交通量が大幅に増加

出典：交通量＝トラフィックカウンターによる計測値（各年10月平日平均）（確定値）
 ※1(斜字)：データ欠測の箇所があるため平成22年度・平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査の日交通量を使用
 ※2：R4年は9月平日平均交通量（確定値）

三陸沿岸部の交通量推移(震災前～全線開通後)

▼三陸沿岸部(三陸沿岸道路・並行現道 国道45号)の区間別全車種交通量(10月平日平均)

■ 三陸沿岸道路 ■ 国道45号

(台/日)

〈凡例〉
■ 2車線開通区間 — 2車線開通済区間
■ 4車線開通区間 — 4車線開通済区間

区間 (IC名)	石巻市			気仙沼市			開通状況
	① 石巻河南～石巻女川	② 河北～桃生豊里	③ 気仙沼港～浦島大島				
H22※1	16,300 18,100 34,400 三治道の分担率 約5割	16,200 16,100 32,300 三治道の分担率 約5割	15,200 15,200	登米東和 IC まで開通 (H27.3)			至いわき ○ 仙台港北 IC ○ 利府中 IC ○ 松島海岸 IC ○ 桃生豊里 IC ○ 登米東和 IC ○ 南三陸海岸 IC ○ 気仙沼中央 IC ○ 唐桑小原木 IC 至八戸
H24	19,700 17,800 37,500	19,200 19,200 国道45号 データ欠測	21,400 21,400	石巻女川 IC まで4車線化(石巻女川 IC H27.10.4 新設)			至いわき ○ 仙台港北 IC ○ 利府中 IC ○ 松島海岸 IC ○ 石巻女川 IC ○ 桃生豊里 IC ○ 登米東和 IC ○ 南三陸海岸 IC ○ 気仙沼中央 IC ○ 唐桑小原木 IC 至八戸
H27※1	25,100 17,300 42,400	21,000 16,800 37,800	21,400 21,400	南三陸海岸 IC まで開通 (H29.3)			至いわき ○ 仙台港北 IC ○ 利府中 IC ○ 松島海岸 IC ○ 石巻女川 IC ○ 桃生豊里 IC ○ 登米東和 IC ○ 三滝堂 IC ○ 南三陸海岸 IC ○ 気仙沼中央 IC ○ 唐桑小原木 IC 至八戸
H29	29,500 17,100 46,600	22,900 15,900 38,800	20,800 20,800	気仙沼中央 IC まで開通 (H31.2) ※小泉海岸 IC～本吉津谷 IC 間除く			至いわき ○ 仙台港北 IC ○ 利府中 IC ○ 松島海岸 IC ○ 石巻女川 IC ○ 桃生豊里 IC ○ 登米東和 IC ○ 三滝堂 IC ○ 南三陸海岸 IC ○ 小泉海岸 IC ○ 本吉津谷 IC ○ 気仙沼中央 IC ○ 唐桑小原木 IC 至八戸
R1	31,100 16,900 48,000	25,000 15,100 40,100	19,700 19,700	宮城県復興道路 全線開通 (R3.3)			至いわき ○ 仙台港北 IC ○ 利府中 IC ○ 松島海岸 IC ○ 石巻女川 IC ○ 桃生豊里 IC ○ 登米東和 IC ○ 三滝堂 IC ○ 南三陸海岸 IC ○ 小泉海岸 IC ○ 本吉津谷 IC ○ 気仙沼中央 IC ○ 唐桑小原木 IC 至八戸
R3	31,100 14,500 45,600	23,400 14,300 37,700	8,800 13,800 22,600	三陸沿岸道路(仙台～八戸) R3.12 全線開通			至いわき ○ 仙台港北 IC ○ 利府中 IC ○ 松島海岸 IC ○ 石巻女川 IC ○ 桃生豊里 IC ○ 登米東和 IC ○ 三滝堂 IC ○ 南三陸海岸 IC ○ 小泉海岸 IC ○ 本吉津谷 IC ○ 気仙沼中央 IC ○ 唐桑小原木 IC 至八戸
R4※2	30,600 13,300 43,900 三治道の分担率 約7割	24,000 14,000 38,000 三治道の分担率 約6割	8,700 13,800 22,500 三治道の分担率 約4割				

震災前 (H22) との 比較	断面 交通量	約1.3倍増加	約1.2倍増加	約1.5倍増加
	三治道の 分担率	H22: 約5割⇒R4: 約7割	H22: 約5割⇒R4: 約6割	R4: 約4割

【断面交通量計測箇所】
 ①三治道: 三陸石巻 国道45号: 石巻
 ②三治道: 三陸豊里 国道45号: 河北
 ③三治道: 三陸気仙沼港横断橋 国道45号: 気仙沼田中

出典: 交通量=トラフィックカウンターによる計測値 (各年10月平日平均) (確定値)
 ※1: データ欠測の箇所があるため平成22年度・平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査の日交通量を使用
 ※2: R4年は9月平日平均交通量 (確定値)

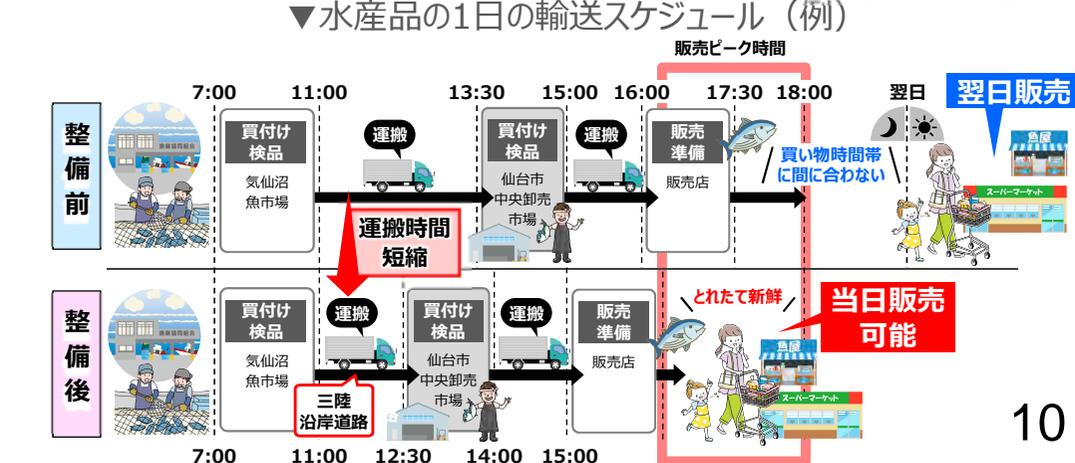
三陸沿岸道路の整備に伴い、並行現道から三陸沿岸道路へ交通量が転換

三陸沿岸道路の整備効果事例(リダンダンシー・水産)

東北自動車道が通行止め時に三陸沿岸道路の交通量が増加
災害時に代替路として利用が可能に



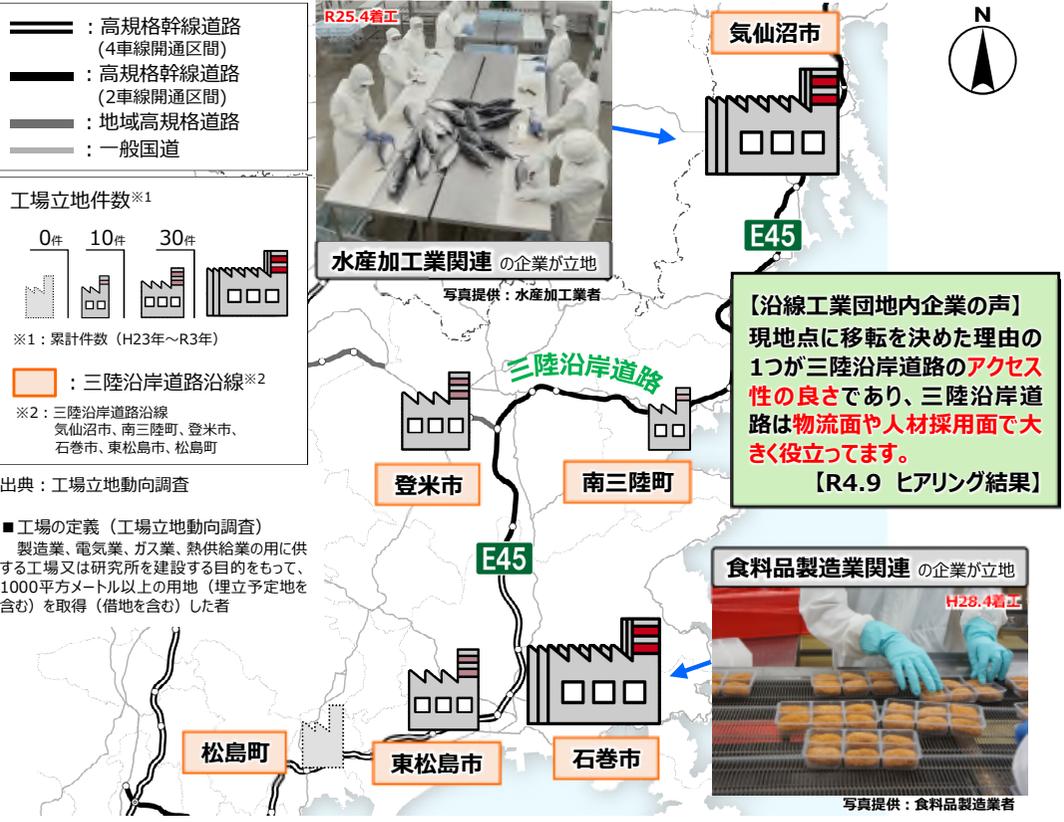
全国有数の漁港である気仙沼から仙台までの所要時間が短縮
朝に水揚げされた魚を県内での当日販売が可能に



三陸沿岸道路の整備効果事例(工場立地・高速バス)

三陸沿岸道路沿線地域に、工場の新設件数が増加
地域産業の発展に貢献

▼三陸沿岸道路沿線の工場立地状況 (H23~R3)



▼三陸沿岸道路沿線の工場立地件数 (累計) (H23~R3)



三陸沿岸道路の整備により高速バスの運行に変化。

アクセシビリティが向上し、高速バス利便性向上に寄与

